

第 5 回 結城市学校適正配置等検討委員会議事録

結城市教育委員会

第5回 結城市学校適正配置等検討委員会議事録（要旨）

- 日 時 令和3年9月8日（水曜日）午後3時30分から午後4時30分
- 場 所 結城市役所 大会議室1
- 出席委員 委員長 小島 睦 副委員長 瀧田 昌孝 委員 落合 由美子
委員 上田 哲弘 委員 町田 裕行 委員 齋藤 紀子
委員 大木 作次 委員 佐藤 仁
- 欠席委員 委員 齋藤 昌徳
- 教育委員会事務局
教育部長 飯田 和美 学校教育課長 大木 博
学校再編係長 和泉田 真 主幹 伊佐岡 真美

●次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
(1) 中間報告（案）について
(2) その他
- 4 その他
- 5 閉会

○要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・ 前回、中学校区ごとの適正配置案についてご審議いただき、それらを反映した今回の中間報告案を決定して各方面で公表していくこととなります。これまでの経緯、考え方が表現されています。本委員会において学校、保護者、教育委員会の意見を踏まえ、今回の報告を基にして最終的な提言書の作成まで進めていくということで引き続きご協力お願いいたします。

3 議事

(1) 中間報告（案）について

【事務局説明】

- ・ 中間報告の位置付けとして、最終的な報告書となる学校適正配置等に関する提言書の中の適正配置等の検討案を抜粋したものであること。中間報告を公開する目的は、本市の学校教育の現状、課題、対策案など具体的に示すことで見える化を図り問題意識を共有化するというところにある。今後この中間報告の公開により保護者や自治会からの意見、要望等があると思われるが、地元説明会等を通じて丁寧に対応し提言書に反映をしていきたい。市教育委員会では児童生徒、保護者本位の学校再編、適正配置を進めていきたいので引き続き協力をお願いします。
- ・ 中間報告における学校再編、適正配置のテーマは2つあり、学校規模の適正化と小中一貫教育の推進である。学校規模の適正化については小規模校の解消、学校間の生徒児童数の平準化である。小中一貫教育の推進では、学校の形式にとらわれず小中一貫教育を目指していくといった方向性とする。
- ・ 将来的なビジョンとして中間報告や提言書の対策案を実行していくと、10年後には中学校は結城中学校、結城南中学校、結城東中学校の3校。小学校は結城小、結城西小、城南小、それから結城南中学校区に新設される小学校ということで4つの小学校という学校配置になる。
- ・ **1** 結城南中学校区の適正規模化の検討案として、結城南中学校との小中一貫教育に適した場所に新設校を設置する。テーマの学校規模の適正化と小中一貫教育の推進に寄与する。前回の検討委員会でも全会一致で採用された案である。
- ・ **2** 結城中学校区、結城東中学校区の学区再編の検討案として、前回の検討委員会の中で絞り込みができなかった四ツ京地区に関する案である。学区再編の時期を案1では小学校から、案2では中学校から編入するという2つの案を本検討委員会では絞り込みをせずにそのまま提示するということを提案。どちらの案でもテーマの学校規模の適正化、中学校の生徒数の平準化が図れる。案1では小中一貫教育の推進として小中連携の強化が図られる。案2では結城小学校、結城西小学校の児童数はそのまま維持され、中学校の生徒数の平準化を主眼に置いたものになる。
- ・ **3** 結城南中学校区、結城東中学校区の学区再編の検討案として、前回決定には至らなかった案であり、小森・久保田・宮崎・慶福地区を結城南中学校区に変更する案である。

現在、当該地区4つの地区は絹川小学校、結城東中学校の通学区域であるが、統合校が新設された場合は小中一貫教育の観点から当該地区の通学区域は新設の小学校、結城南中学校とする案である。委員から指摘のあった意見とテーマである小中一貫教育の推進を踏まえ提案するものである。ただし、結城東中学校への進学を希望する児童数も相当数いるため、配慮する必要がある旨の付記をする。

- ・ 4 結城中学校区の適正規模化の検討案として城南小学校と城西小学校を、校地を城南小学校として統合する案である。前回の委員会の中で通学距離が遠くなる子への配慮が必要との指摘があったので、スクールバス導入を検討すると付記をする。

【意見】

- ・ 小中一貫教育の推進によりカリキュラムが変わってくるのであれば、転校生がついて行けない場合が心配である。
- ・ 小中一貫教育では学校行事が変わる場合は考えられるが、授業内容などのカリキュラムが大きく変わることはないので心配はいらないと思われる。
- ・ 具体的に時期を載せていることもあり、結城南中学校区の学校再編を急いでいただけるとありがたい。

(2) その他

- ・ 入学者の推計は実際の出生数（自然増減）のみを反映させたものであり、社会的増減は加味されていない。
- ・ 幼稚園や保育園でも外国人が増加傾向にあり、小学校も同様だと思うのでどのように対応しているか情報を共有したい。

4 その他

【事務局説明】

- ・ 第1回アンケート調査の結果報告、自由記述について説明。全体として意見の多かった一人一人に細かい指導するためクラスの人数が多すぎない20人から30人程度を希望していること、かつ多様な友達と触れ合えることで向上心や競争心が育つことを望んでいることから、クラスは2クラス以上とする単学級の解消という点で中間報告の方に反映している。

5 閉会